713
29471

特
2947
17
17

特
欠
13

饗庭藏書

京傳著

仕懸文庫

大磯廓中光景
鎌倉遊子傳記

蔦唐丸梓

不許半時
先刻御免

自叙

夫頼朝公乃御顔會よりハ大ハ
獨大礒の駿し形り虎お將城
初として許多の妓女色を
あらそふ美容容姿よ通し合
梶原ハ傍ハ霄宿迄れ矢筈

を達へ小林が慢ら左右の髯
ぜ〻〻掻初ぶ糸二日藤乃衛足
時鼓ゲ疳積ら煙筒の皿を
挫ぐ羽織工藤あしだ羽織
歌妓あり乃家世人男子等
ハ流義の妓女衆あり

或恍惚く近江の實情あり。
ハ情で首の義所づくあり。汝
息の猪牙舟よ乾類ゑ。呼子
の音く神と死し一切遊びハ
討回の三ものく扱れ外へ
出くあるとぞ。世間狩場

の切あり。拾是ゑ切丸と
こもよ魂と紡失し。赤木仏と
しもし家ゑ鞘ぐく新。豈滿
江公と痛さんや。鬼王の
忠言却くく耳ゑ逆ぶ是鑑
倉時世の妖境して。星月夜

乃井の深く戒且惡所を
くし
北條時方寛政三郎
祐安辛亥の荒次郎
鬼王の正自和田醜の

三日目

京傳醉中誌

仕懸文庫目録

第一回
大磯往来游戯船中之談
第二回
朝夷名祐成醉風流忘還
第三回
舞鶴屋傳三教訓惜妓
第四回
梶原誇口罵蝶妓為時致謬終身

前門
迎源
性
後門
送平
族之圖

大磯仕懸文庫

風俗

第一回

山東京傳著

東山小妓を携し漢土の驕者もいまゝ
繰皂舗の出番のちゝんつきり拍び酒肆
乃枝茲ゞ立たのしき事成知るべし
寔小後鳥羽院の御宇文治建久の昔
遠舎の巽小あるゝ一ツの女肆あり大磯
と名ぢく寔小来りて陶朱傍頃

富も桂林花一枝のごとくこゝに居てこの賤
君楊妃の美も崑山の片玉のごとく
黄金は麝塚蕭氣の捨場湯氣盛
の場にわかして顧眄安産の失禮を
ゝこゝて同ふこゝぶ　おせゝ乃鄭弯
おつよ雅示ゝ　ゝ患臣も西ゝひ巷
子もうゝ老ゝゝ　ゝゝゝ若ゝゝ格
ゝゝ八ゝ湯ゝ　ゝゝゝゝ

しゝゝ　ゝゝ聽ゝゝ
或ハ討或ハ被ゝ陸ゝ乃ハ稀ゝ舟ゝ
者多ゝゆゝ無ゝ　ゝ風ゝ舟
乃ち乃ハ　ゝ楫牙舟乃柏餅ゝ舟
のゆんぢゝゝ　ゝ機櫓つけゝゝ
先ゝ上ゝ　ゝゝ港板ゝ出せゝ
神ゝふのゝ　松ゝゝゝ君のごゝ
客人茶ゝ　ゝゝ服織ゝゝ

衣服ふあらべ彩子とよぶ米にあず
晩さの娘らへ今日はかきんと変し羽そう
化しくるもそるるなんどへいまぐ礼記の月
令あもうど初令ふりひねとうと変化
とうあて伝あもぐるとして鼻をあるる宵
宵ぐありの宮ちんそちつぐへ朝るとしの
祝むうき新にワあけのちつり昼あそびた
ひうこの妓のみへ獨立の若手けぐく

よあべ蜜言へ蜜夷の風朝ゆうく毎ど
味ちうあもあるし拝てくるとうとうとい
てのゲ楽れあもべすう秋くすうあねもあり
うつきん風へ鼻のさんを始きこ実情の雨へ
膳のあうへあれきくくへ千差万別妓の源
乳懸変實ふ見足平康乃盛事なうぐう
○こふ相刻年塚の霜紀ゆ橋のよ武家閑ん
まぐ乃あひさびのぶうこんぐるへ千ぐん仕ちこのこうゆ
ひ社るのとぐるん大ふ乃こうらへよ乳ふつれぐ力ハたぐも
うく長くてんれちう朝ら鉄のゆく目つぐふうぐれんの付

[illegible]

竹のこぞこといへ共つゝとも[illegible]
[illegible]
[illegible]

○おりゝ秋のそらめつらしあてぶんきゝあれだけうんすゞ
ゝ長月八日とゝ扇とゝ扇とゝ扇とゝ扇とゝ扇とゝ扇とゝ扇
久中ゆかなり門のまゝ底の舟とゝ人一そうのかれ舟
すゝ〻ゝ角けるまでぶつのてる紙ゆくきゝのゝ紙
中一人のきゝてゝ小枝の名ひのゝゝ三年ぐいゆゝきゝぶま
のひとゝのゝのゝのゝゆかんのゝとゝのゝゝぶとゝくゝれ
かゝとゝ人のそのゝてゝなるゝ今一人の客ハそのゝもゝ
六三ゝのゝぐさゝまゝ名ちぐゝ白ぐんゝのゝとゝ
ゝぶ地紙のゝ紙ゝゝゝゝゝゝ描きゝくゝてゝ人のそハ
まぐゝふゝゝゝゝゝ今一人ハ園ゝとてそぶの十郎ぐゝみ
すゝ今ゝゝゝ

十郎 コウ 朝さん今紙ゝ描のゝ人
と無ゝさゝ仕ゝゝのゝゝゝゝゝゝ

うれうがある 鉄の主はけ[illegible]いろうぞのヲ 十二月
ざのコウー二四八ウ八ッ八ぶさうそうと今
あげうせんちうざのこのりみんぞうざと結やと結しきへ
大破てうの 十帝 アレ 結ぐうるぶとうと 豹 ホンニ
情なり
盗 でうせんのうるぎぞアレりへのんてちまう
さ十 みちうう出て此八ちんぶんぶるうぶ
ちちちちちちちちちちちちちちる
つうぞうりがあうさナ 向の絵 ライ おじさんぞけへつて
久 縄田町ぞア 向の絵 とんぞうふうまうへ トけれ 図 アイ

やちうもでくぶ 鶴 ぞうぞうくうんてうこ みひうう 鶴会注川
下のちちちちちちちちちちちちちち

十てぶ大坂乃新市繁さいのう 鈴そうサ
密ての板戸屋のうらく糸の次郎さんきき
うらがござりやーこのいちぶれく 久こーの
新こうせもとでうてぐてるさござりで 鈴今ふこう
してあるのう 鈴中のたごがんかうの河茶屋うう
かりてあるをもぐふ入てきさしこ大ダきこる
久モシ 桃箱の引出ふりくちぐござりさん 十
ソウトしやうちょ大文糸のふん引出糸あごれべ毋もぐさ
うちに伝蔵通家ぶ工夫を
ぼうちぶ出りてうつこうあうこうご 密トレ

うつくしやーやう 鈴引出しの中うう糸紙引
ごまを紙屋さして茂郎さ女夢のうまるん
ちげうう おぢんぶ山おこげこのふうぐり
うう出る 久ホンニ そのみ紙ごげるのぐつけ
なゆさ中うう出ちぐ紙屋のうく大いそる今
あなううくしとしふうくうの手ごあるうる
ふる市場のまつきうれ 十大いその振市
繁さいんのいてうぐぶ毋ぐ片ふてるけきうう
ちさうぐ 鈴ようもうう毋ぐうサ 十ての大

智屋と申して大ぶぎもとぐれ 弱 大ちやーらくアナ
あもアノ下旅うもの荷のたんをとりてあるうちが
そぐ 十 冨倉と申しらんへ 弱 ぞぞらくらんアノ赤く
ねうてぞそうろうれ出てあるうちさ 雷 モシてく宴の
そそうろうの出るんせが死川よりやとぞりやと稲へ
きよれん山のうりあふらうくちあもやしさ
モシちやりやをれへ 弱 コウあぐらんアノ陽門屋
のワルのちらさる稲荷アやぶんとふ 区

山田いるりさのひやと 弱 コウ 祐成さんは九りの
ばりがの日記とのばりとふョ大いそうりたんよく
ちんてうあぐーいあれ嵐のちんとうまくらたやすい
紀中ろんてやしそちやと屋 子ども おくあぐんちうりのち
の女とのうくみる
うよ日傘をふんとうれるよ 茶屋 ちちの茶ヤ
あをうと屋のおぐさんぐけへいきるをうちち
ぐほうへいきうねりんぐね 久 おうりけうう 茶屋
女 アイちうときなせてしるとうへむふうう又ぎうのちよ
きやくがひうりのをうり

[illegible] 子さま ヨヤ 青紙屋のおぢさんぞけ〳〵
いきみたるこゝろち〳〵がほ〳〵きろいりんぞる
次 おとりげつろ 茶女 アイサ ちろとこさこのせ〳〵
ト いつもの〳〵みこさこのちゝたきゝ〳〵
ひゝりのせろとりまるこぶひみころけと 子さま ヨヤ 名さん
ぞよ 茶女 ヨヤく よくおいでせ〳〵 [illegible] 今
ろろりおとりぞと いろ〳〵けいくきてこぞ
いろおぐあてさアゝ毋けゝてゝれトこぶひみ
くろあれ毋をりこ〳〵 ニそよるゝ〳〵 ながゝ
いそぎゆく ○これいけきゝ 仏女郎 ぐなゝ〳〵ゆそきと

ぶぐ作更おとりおいろこきゝ ひるゝくろてこゝゆそ
まりしろりそこぞよ仏女郎 毋をりこ〳〵ろれり 新
こいろァいりくあいこ 大いそ 拾びぞよそ
ていちこぞ ぬぞ おちる 鳥羽 淀の女ぶぞの
次 さこゝきあのふるんざァこゝきその板ぐゝらき
板りちゝこんよせぞの板ゝらぞこいふ 東大いそ 通何迄
仏毋ハちのこいそぞも せぶやこゝ たふ白れいるり
尤 毋ちゝ乃ロそんり 岩とこそゆそすぞれなを
新 祇ふりさん コレ 仏右ゝぞ 白紙いるり 尤ぐ
ちゝ乃ロ天河 岸 ちるちあの 岩ぞちゝ

乃ニ天ごろちゝ井破井さんのきんの加
つくあれ義ぢくりう縄町乃てあれけやり
くり紙さてる七ツやぐ[illegible]
ちゝ紙のせいそだ来る又そのあとよりあるすぐ二人紙ぐう
まて[illegible]
紙[illegible]
あり[illegible]
ますぐる

十 コレ釣ひるのさん人今あの舟ふるぜあすと
（注）あて紙頭紙よりてさのう 釣 よくあるぜ
ゞあまと大いそあそぶ乃きりゝ人あさ

とだせ
釣瓶漕の客ときゝ紙あのゝとろ紙さんゝ
ゝ舟乃きやくと行ゝ舟のきやくと行
ど女郎紙なゝんで笑ゝいゝやゝさあと
ゝきゝやゝろい先のやゝろとゝゝやゝゝ
紙紙おゝをかけさせてさんゝにをきりふ
やゝさのさん乃やゝろ紙ゝんゝね
ゝゝゝゝいゝぐなんぐいゝそゝていゝゝゝも
モウ 後ゝふなれとゝいゝやゝゝ紙の舟ふゝ

おもくいろそも出人（ト長きくおもやァころ
ちせりのさきこ人（やこうこそこ人いときこうこんよ
栄人大いその通こそぐまゝ（せんらく）備ゑこまこ紅ふ
やこをとこうぐここぐあこここ本こちへだこよ
せ人の縁（ちサ十切ん人ん人こころふよんち
てこうここぐここんここふりここをみこうこんぐこ
栄（うち）こ浦川こいりのぐれ（ト長のうんでこうそ長絶町の巳橋ぐつく
釣大ぶぐぐやこぐ人（ト長のうんでこうそ長かこ人てここくてこんこア

出くりこもこれ縁（いこ人（ト長のこ人こ長絶丁のこぐこん
大てんきやくけここをもこ子こ子こ
きれここ板こやくこちこ大いそ毎の時こ栄こてこくみむきこぐそ
る胡凡ぐなぐれ付そりる久そりやァ河幸人（くろい
やこをいこくなここのさ（ト久ハさこ人こよこちゆ底
ここて宗と紅供と娘ぐんここ人こそひあこここり下女すぐこを
ゆこりのを井（へこくここもこよひこふこ人のせゆこをふこ人
なてこをこげ毎こ紅ぐけれ毎（へる紅沈おあぐうこぐこうまこ
栄清吉もう何こ時すぐ紅八こぐこちこゆこり
やこここう（ト栄もこ毎こりこ毎（のる張んこものこ
てここの長みここの方（むりここれ

あがゆれてもはのこれれば
やうにのぶづひるれさるの也 図 ちりせて モレヘ でー
いるさんやさもョ 絵 いまゝくしんぶさうぐらりゝ
サア 就ありさんとこれゝ 十 マア 図 こゝきくあぐゝ
つー 図 そんるゝおさらくでやーゝゝ 十 ヲ、
コレくこのうァ大さうぐ きゝぐるりいュレ
ゝくくんてゝと 繰へ あ出ぐそんこんぐ 図
それりやーゝゝ 三人毎家とる 絵ひるを 桐のまゝ
とたくさむ三人 ひろたくゝ 就るりけるゝ
ぶだんとゝる 図 雪ゝ ゝゝの ぶんをめくゝちのけるあ
ゝゝゝの 時りて 来さたぐゝ

十一

わんとゝゝけ けゝゝゝふゝり物ゝ ゝゝおあゝ
てふさけ
ゝゝめゝゝとやゝ 絵 ゝゝくゝ来ゝゝ ト三人ゆゝの
ふ鏡と縄丁へゝゝゝゝ 掛ゝゝゝ
ゝゝゆゝのゝの三ゝゝゝて
ナァ あのくまゝゝやそして 清の 盛ゝゝゝや
絵 ゝゝ
ゝゝくくくのゝ
第二回
暖簾 風 暖くゝ家名人と 掛くゝゝゝ 紙口
ゝ手 勢 ゝくゝ おのゝ 名人 風 数ゝのこ

るこの風来の姿言うり変ふ〜〜〜

だゝ[illegible]ゆくのまちくらく　下女ふさ　利久めいんのゆくさびちや
うこのまびんさうぞうまひ
の後横座敷のおきやくに演ずるのもうぐさ
うぐうまんせそくんうまちく和田屋の
送りのおくらを和久つんぐらのう　男ちり助　そんる
おそはゆるとうがしじやゆく　中さ　うくらふまや
まるのんざの　ゆたりの女　さんたりぐうとりもしへ　ちひきく
さんのうゆどりしておんるをとおさげのうく
てでぜんやとおくのんやとらんのに宮よりふあひ
るぐうのきくぐきてゆる

ゆたりのきくのうりうもびうくうう雪うりへのりれ
らうくうもびざりぬつくくうう年ぐあうゆをものいやそらちげ
あうどうこざとけうそくのく　中さ　アイ今さうやうこうこ屋ふちう
とうふがわうくうまんぐうとかやうやうこう
てきるせん　中さ　そんるうおくおるのんやとと
とそうこうちる麻くくしふまくくゆうそさりあうがある
も紀ぐつ多くゆとは　中さ　つけきぐつ多くもきぐけ多く
もう行人女けうちやアわくよおんを　男　千　盛　三人来る
中さ　ヨヤく　朝はちふ　あさいか　ふうんようう　お出るせくくうね

ぞうさこもサノあわどんうるさいー姫ぜん[illegible]よりくあ
ゑ人ーこおそ[illegible]あ紙あげてくん分[illegible]のそこあそ
おきやくごーよ。ノ[illegible]ちらこ紙ようりけてとこ紙これで
あゆかなどきはそ乃ゑてりやアごうせんまあどやこ[illegible]ちけぜん
ゑこりのきこ人とくくちせてまるぶんこ太りそのそきりの
とえうけーくらまま人のまうあうむまうけ元こ紙おせうまい
縄丁ふゆへ[illegible]冊まの[illegible]
[illegible]十[illegible]紙に[illegible]おうけすぐ
ーこおわこあきはゆとうくーてく人[illegible]ちこ紙やんよモレ
はこうこおまりぐーーうこごりやーーこれく[illegible]いそ

かーいうまでくぶみこあこやこごの[illegible]ゑ山でろい相撲
でこごりはと[illegible]おきころ[illegible]ゑさんようおいれせ
へーーと[illegible]おころ山雪の下れ塚井所でこうけこそ
[illegible]あいサかけふめてりやーーとトいうこうく[illegible]ゑこり
まりころ風のへりさうもわくごゑこの三舟ふ
おこごこへごごりやーーとトいを[illegible]おこちさん一ーのこま
さんれへサアごるそこもおーーおあどんかこれやーート
おーーさうゑまりる本へこの門での
さこくおこさんこしあこるゑこりー[illegible]ゑ[illegible]ゑりゑさんようこ

いつつたやりはしさもしへさういてーやんやう
稲へお藤さんへおまつりでござりやしよんるか
ふ出ていなかせへさとさとさとろうちめでも出ている
ゐをへさとりやァゆりふひたものう 図 さうは
 絵 そりやアりくでうのめへどでてのこへどん
さういくらでせへ 図 おふてへ出ちよりけへどよ
 絵 いつゆうで牛五寺きれのかごを 図 ひで 出
でろ出さうくがそろひふおどーるまへーさ

久へのうめやふくぐ稲へ今うまうちーどうち
うううりうりゐのが二こへあのそけてやー
さうまでぐふでやしーこアんてうろくうやー
ろうトゆうさう 絵 はちろくそてこうと
かおろト稲ぎトきけ魚ゆ水よんてへ稲へ 図
魚ゆさんへ成田へさうみせーさよ 図 そんる
鬼きゆ水よんでくぐせへ 図 ひで おろさんたーう
雪ゆう乃出でん裏のーへへ出ていくゆるるのう

マアよせぐくきふやりやーかう［ト］ゆうらんこうこうこう

ト二人ヤ貴女ハ出るおそらくハ伊ぜさらゆるれ出ぐさられるかさと
思ひ〻〻ハ出ぐさと出るのちぐ〻ろ思ひ出ぐさ出る紙いやりと
いろぐ〻もらーのゆるりのがきぐ〻
さもらるくき紙つ〻くるんの〻 【お元】 十七ぐろり出る紙のひ
のおぐまのやうはりそぐでゆんぐ〻ひとすぐれひ下に
ひの板ドちれるれせんさるちゃぐんとのとびかくんらぐん
乃ろ〻三夫神ぐろ〻のつくり板の
さ尺縄下ぐ〻けミ人ぐ〻よ〻 【おぐん】 ぢぐろ〻ぐれろてぐんぐ
ぐ〻人のりんぐきぐ〻ろれ紙ひちりめんの出ぐ石ぐん
板上の見ぐ出とのおびぐ〻人ひぐんぐさげかぐ〻ぐりおく
ーのぢく 和さーのの元よろ〻ぐ出ぐ〻ぐ〻ぐ〻

ぐ[illegible]　稲吉　鬼よ[illegible]さんおく[illegible]乃髪ハ莫ど[illegible]

縄丁の[illegible]　鬼　にゝれ[illegible]　稲　やるせぶれ[illegible]銘

さん[illegible]乃[illegible]の[illegible]乃山の今ハでおろ[illegible]

[illegible]　銘　稲ひ[illegible]ハ[illegible]向[illegible]

いろ[illegible]ふ[illegible]ろ[illegible]

あ[illegible]れ[illegible]

[illegible]　近江小菱　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

あ[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

まーうえとりーえ人[illegible]
サノくあるぐくうちおうんがら[illegible]あもいてがア
板屋こんきやちあう小菊ちさんのもだれそうち
うんかい紙こうくうちくきやーやうかいごろい
こんなふはぎそれ月しうみごろと紙まれ月らある
うーうちうしと買こーもるすびこんざーる
こうりやとかひうこーいうんでそくるあう[illegible]むうかうあさだ友
毒のぐくなんぐ山額の絵いきぼーをかぎうて弁ま

のつてるおきんと藤の舟浦ぢうざこうざ
[illegible]すれまをいるまえ[illegible]れと行根ぜ[illegible]きねる
ある[illegible]ちあいうどうあ弱く大きふあうら紙
こんこうんはたのあれやちいんなーて香
つきのやちいなとーやへやちこうつれこん酒のちこうる
ちちとーいくあちい縞町すーけへうまこーい門
およたくうをを拝りいやとうんぜんとんきこばふ
色とこうこいうるうきのへーたうくんやうこ
[illegible]酒屋の通を起これふこうこう愛の肉へ小條の

はるそうごんぐるまでやアはいく八全てくそんへへおぢ
ゐまへせん三そんゐるけ化粧坂へだりいくさ
らう小夜ユウ三枚公五ゐまいまゐ一ちやアでく
ぶさけへのう三ちまでけちゐくんさゐざうう
やとくくうくまやとあへうんそたーみとくくは
ゐとんくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[名] 祐成（すけなり）ゑん モウ 福（ふく） [十] 行（ゆき）まごサ うぢこれ〳〵やぐら

ひろい 祐（すけ）〳〵 [名] ろん 茶屋（ちやや） とだせ 流（ながし）るゑんざア 如（ごと）ものろくろくろく

十 そてこんるまかゝやゝけくあのよ 宮 けてゝゝが
やゝるのものゝまどふしておやこもめゝとゝんゝう
の月とゝゝサ 十 でゝ殺おゝゝのものゝりゝ トもちふ図三を おゝんゝとの金中 わゝふゝ金 ものゝゝ
ゝりゝ鉢ひゝとおゝるゝゝすゝゝゝ
おゝりゝひゝおゝとゝゝてゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ものゝゝゝなゝゝくゝゝゝゝゝに
ゝるゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]ハ[illegible]トもぞ[illegible]ろ[illegible]の[illegible]ら[illegible]よ
[illegible]ぞ[illegible]ろ[illegible]ら[illegible]れば 弱 十 遠 三人おなじ
三人のあひさハ 弱 コウ 祐成さん日ぐまさん居ち
下へゆく
やアこりいろ 十 よく〳〵も 極〳〵おめ〳〵ばどよ
そるのんど 弱 モシ きふく〳〵ぎアあのゑぞさげ
て和の殿トよび出す 十 何サきんざでもぬ〳〵
ハる 弱 さうハみんぞそコウ 国こてめもおつ
うやよ〳〵ぞしさる 打 ぞ[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]
ろぜく 遠 何サろちやアトロ〳〵とやもしやー

さそんぞこ〳〵ぞいろく 和ろんぞ出さる[illegible]
ちが身ろく〳〵でこざりやも 身のよとハ役者の通云 十 朝ぞ
ゐさんこしやア男ぜんしやハいろ〳〵ざ[illegible]つ
なりおぞこと[illegible] 弱 何男ぞしやハ[illegible]サ 十
ゐ和源のぜやもろ〳〵よ[illegible]ろ[illegible] 弱 [illegible]
ゐ和源ところ〳〵ところの殿ゐ和源もよハれる
のサそろ〳〵ろで二ゐなるのサそこでぞや
アこども。和そり。といのぐゐ和源やアやつ

そり。女房。ゆるしやとそうあるへれかなまこと
いひゆはへのうるかぢ中があるあるあれ流のこくき
あるぞこじやアるまどもこ屋へこうる女ゝこゆのの命こ
ゑりぐりりこらへまくるる女があるそれで浪世
よなるのサそんこれ乃あだきんとけまて
とこうるあ十ケ世そんこうさこのこのとたるこ乃ところへ転ぶ久
味りへぐふるこりやを名あるこ一きこあるつ
ありざ久それもこぐりやーや名稲

きもなれしてやこうのせへトかこるまて和ぐんある
もんびはあるこが一こりあるあ根ぐぜやるゑそし
わ参こ右こあるる女房ぐちこと人かーを
げへゆこ久はめへのやこるものあれをたあるる
お客はこるこ年がねへ名久ーんぐこけいそうや
るトこふこ三へゆこさにきりてある和こ名あんちぐけーな
のゆりこ月ん八こんこの八こ和ぐーこことなこるこ
そのりこる月こ八親九仕へのこりこれかんこりゆりこ月吉もこ
こりなこーりこるなぐ出るけきやくおくアあこうこぐん
かぐひゆぐーのいきこはこゆてもこやーんこ久こりこて
けきこりかなりこりこりこりこりこ娘ゆや女へこそりこ

[illegible]

いな吉モレ　相さんぶしころよりそなへ

はらはらとく　おぢのせんり　つる　ホトこ　ひとりもいた

てくよ　トそじくるやたちさひ　さて　安　吹　のつてきて

きろひひさとのくやたし　いる吉ふてこいるをひこい

てアるこそのうみく　豆　行りあり　ろさこ　なこ　ね

へふそやさこみ　豆　行りあり　ろさこ　なこ　ね

いな　なよふひゆうでんぶんの　ふりくきこのす　つる

こまこくゆどりが　いな　ふ　さこサ　奶　ろくそこるふ

ちやうもぬるくトはうちおとくおどん　初　ふ　ひだまやんで

ろる　奶　コウ　おぢんひどろハ　ろ　狐　ぽハ　ぞくぞ　久

あうちも　毋　だやうこゆ　ふ　おきゆ　ふ　ぬ　つれく

いまこゆーさが　毋　布　紙　ベヤ　紙屋　まで　ふ　こ　ろ　ざ

きがやうこつくけへアやしう　豆　コウ　あとと　書　紙屋

かんがごうせいて　ヲのくれてとい　ふ　ろ　人　おひで　あさ

いなさんあへさんハこれでくぶくしてるとふ

有　ぬ　さ　ん　ヤ　サアこれを　一つ　ひとんなせやー

トたろ　ぬ　ふ　ち　こ　ゆ　の　ろ　ん　せ　ん　ぶ　こ　ち　く　出　ぬ　奶　こ　ろ　ア　ありが

ものきぬ　ま　ぬ　ち　ま　ぬ　ち　ま　ぬ　ち

のものゝ共用ゐいふのんざ【つる】ゆうれいもしけふた
どうぞ海りゝゆちぐ我ゆゑんくおらんを
せんー【弱】しやうちく

第三回

こゝ意ゝ情実中裏とそ大いそ通ゝまゝ屋
いゝゝ風伝ゐの小路りて妓家彩絞ゝ
移ゝ棟式うゝぐて掛の蓋と抜くふゝし
き人出入形ゝゝ奴弱下端の者ハ会

場ふゆ　まゝ紀文が中ゆも鶴といふ客と
楼ゝゝ作義ゝゝ舞踏屋傳三
ゝゝの妓家かゝ門只【居山】ゆどゝゝこ紙こゝんてゆる
ゆんゝ中ゝ紙せんゝてゝ【子供】ゝゝ金魚釣乃
ゆゆかえくゆゆゝゝ釣ゝの切盃の剃人
【結髪鬘】来りおゝゝ人出やゝ【居山】アイおゝまゝゆ
【てゝる伝ゝ】通俗すんゝ作紙ゝゝかけてゆ
ゆゝゝゆゝゝ貝ゝ屋　イ釈六さん出
【訳】ゝ紀ふゝゝ会人ゝあゝやゝゝゝきゝゝ寝出
ゝゝゝ

世ごさりとの異世ごのようすの
ちがへるこの風俗のうつり変り 僧 世間わかることう
人もほうばいがるるれば是でもついちやアいてもくり 親
何サ根成よくたづじてまやーさいさんさの祝へ
のさ世こさいろ成てりとんるもんるりやアねへら
御判くるびせーー判いだまこ沢へなすつこ 僧
二人りるるぐきるぬへ成てりへ四分つりのとあん
だるむ沢やこぐ沢ひとりの髪どもでえん
うんてあるる風ぶきどのうるぐとあんだーあーとい来よく
ものくふのうる沢せんどてのかはるるとうるわい

しまふりやそのこ
のりろぬやるるこ
ものど 親 ろ事で金ろまんぐーあとんあるりす
ろーあーさあるうこるせ人 僧 あーーるる動ろすど
親 れーーいまる人ぐーーろくーーろおてーー 仕
切あるるふ世ぐふ親判とるるるこるるーーー 親
ばんぐやろ悪ぐるーーーー人ぐるるんるーー親
るーるー人沢ーるーるくあけやーーるわぐんら
てる沢るーるあるいちるーる沢てるんるる世人

[illegible]
[illegible] 問 そりやアどうしてもしやう 説 そんなら
物めいてそうもむごくれめあるもやてそんなせへ
[illegible] 問 そ[illegible]といふもあるあつくくそて
らん様へ 説 きづけ〳〵とうるせへまるなりしへ人のそて
ぢよせへねへ[illegible]ぢよう〳〵ねつ[illegible]ぬかんざアノ
アまるやせんらるト 説 ふるあるこでいとさきある
[illegible]人の事なり○わるく〳〵の子供
おてうと 二人よりてうつる 問 おてうちよりとはやとおくのせしと
さ[illegible]ひかりのことでも様〳〵ありて[illegible]
[illegible]

[illegible]
てよりやアあ[illegible]乃茶屋へとてあら[illegible]
[illegible]
ねへとも[illegible]ア[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゲハテ まんぐコワアイト ありゆんがあべのふ二年も
まんがくしてゆ穂まちんといさ穂さーくまとろ
おまとも男ごさーまゆ年や一年のれんき
ちん穂くもやるさーしてもめんが地めふりさ男
とゆとろふあつそくあきやア又おまこもせ歳
しておこのゆとりもすゆこにしてやるゆ穂ゆ志
つくのとりおゆ穂もゆ穂ぐおゆ穂ゆ口ゆきく
おゆ穂あつろて土地ところの世治もとそおまべ

内ゆ子供こ方一ゆこでもおやゆア北家中
へおまゆ顔ゆーこれへ ゆきくへナきくへころがろてんゆろてこゆ
ゆく ほゆどれのおゆん
ぎのこんちうおゆてゆ 田 おてこうさんけるゆどこゆろ
ゆゆかゆり反ーーこ

第四回

女ひで まへゆれてゆ とゆゆゆゆ朝比奈さんモウおゆゆ
ゆまとろへ 鈴 ムゆろよきゆーゆう 三 ゆこゆう
なーーゆゆこもゆ北ゆんゆこう 十 ちゆこ風ゆ

[illegible]て[illegible]れ　[illegible]　おぢいのうきれやうあ[illegible]　又
[illegible]へいごぎりやせん　[illegible]　十　[illegible]　カケゴ[illegible]
[illegible]　ボラウシ[illegible]
[illegible]　女　ヲヤ又[illegible]さん　女　サア[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　又　[illegible]

乃畠山屋ふあなごちづきてあるうちそうち
けあつて来ます　女　モシマアそれじやアおてうさん
のめつてワタくしでごりやと　又　いやうれいろくおつて
下せへおだふいつてくちアトいつども女どもの[illegible]
又　[illegible]
又　そんなるうつ今のうちハあんどやの湯へそつて
わせるすぐしてこそう　女　[illegible]
せへナそんるまるいつてへいきみるるご

らう　はしらる　紙　ちゃみつ　おてうさんかつぼけ
ゆとよ　民　なれてばひづ　そのかへ　おてうと　ある中あて
あつてきり　ゆへたつそれ　おりひこぎこげんきてて　みると　ゆへぎ紙をあけて　ちよつとあひ　来り　公　ちとこくねさかげ　そつ
さ　民　ちよけへつ　てう　さうこさりつてもいつぶか　公つ
ふむけへぐつちとりしてもよんでねくらんれへ
とけへもいきみさんちよュウ　おきどんでかりぐ
のたぐこし紙とおぐあふさういつてぐりよせて

くんれへでしかう　ふョトくゆく　ぎく　他のさうきふつれ
よせだふおだふとふあり　ねずべて大のそのけるりはさ
てお伏のせうふやくうり　そとれりぎきふきくふのさ
おきろ　ソレョつくふぐてくふ出くちそのだん雪
ようで一度ア　ちさア　おられ　ヲそれく　おの
扇ぐ公仁の未廣屋に　ちんぞうおろ　ぐ西　一さう
ぐぶおへどうもる　祝儀と中ぐアちへ十ル
絣一でようろうのゆ　出ぐんの　二分　程ぐで
へおそまるのう　きろ　月ちうア仆でろ　大ひろ　天

でゞ　めもとうんみあつて　きまつてきたりてゞこゝろ
ゝ　ゝ　ゝ　

トいてさうちに
もぐるゆへあんく引トいひぐるぐるさくゑ○ねもとこたえ
まつてあるゑ伏その宮のうを紙ゆりへ
出るとこ【ゑ】ゑ仕ごろ隙へ大湯ゆうぐでんしゃみきてあるゑ
いとんぐ大キゑゆりゆり紙をとるゆよどこそでしゃへを
むぐらうう【きろ】ウョウ一ちゃ海ぐ一度ア去ゆ人ゆ
長家中ぐ中ぐさうゆアゆ紙でもよくしゃ
さうぐよだが海ふをめうう【ゑ】大ゑ湯さんゲゆ
さアかホンニそうやアさうとあるとアまの下へ
みゆ紙ぐさうゆョ【きろ】一しゃゆ状ぐうひゆ

てやらうゆのト一人ゆ紙ゆ○町ゆみ作ゆひと
ゆ紙ゆとうて紙ゆうつひトゑ〈きゆ〉
【あてゆう】そぐのやうぐきてゆうゆうゆ
ろうのまぐどゆれハ何ゆうそゆく仏ゆ
出ゆ吸ゆ紙ゆくゆて出さうゆふまゆ
仕きゆくきゆひゆぐのま過ゆ食ゆ【梶原源太】そのすて紙ユウ
ぐけゆいくのぐ【てう】ちゆとゆみゆふゆ

やゆと【梶】なんぐゆうアゆ
ゆきんゆうゆびゆく出ゆうゆちん
へゆうゆうゆゆゆ紙ゆでゆゆとれて来
ゆう【てう】おゆくさうゆぐ丹おゆくくんゆう

ここアでせんせんさんにんに二三度出さナアあの
梶屋ほいと人トおもつて大あぐら。三ぱんあら
ちくみどの弟ら伝うでまつさおの門ものの外ゆき仕ん
らぐりのきやるで為ものあるとよ一きんで一五二茶こん
ちやるたぐこと言ふくこれへうりやアおりあく
のんでちんとこそこれ紙年の嘆乃粮とこれ中ふ氣ろと
あーふさやるアかりぐ初てんな客こえ
ひのくさるのう個ニまんて仲でこもこ
通り老伝嗜つこ来ぐなくゆくおそれと

うまとのうこう稲人う近江出湖あへ見ぐう
とこうすこ来うにあうあふこう狂うきむ
すこうや夕新の異家にのうとよいうの
まを出番のあうをうあうあるあう
ちこ人で網門屋の芋乃中人こも
ていうこありうく霄う餐須が門の屋を
こぐんようこうこ伝ぐこ伝しやアかりぐ大かこ
門どやアかりこと中こてこら人きこび

小鰹の汁の中へ一下袋之内をかしと
とうふあて小ゑんとうゆ松たくらう
さらう 【てう】モシへ法あるぞふしておくん
やーまちがひつるあやまりさーやうあ
でこせとけーかー袖へ【掘】えんざけーらい
けーがかりけりやアナらうかしやけるむい
ナかゞ不ふうく裏店へ引ッこむいこれ
やアまあ何会うに出るを公人ざたー

久まへ出居尻で亭主をきくしのうく
きこへとアはうれうぶく都へ出る
ゞたんざを客がきこうこうられあくうと
海こ第てをくのう俳師屋乃達深一宗
十郎が仲新しやアはゞ横目ぐみこく
もやうんどやアれへ久見うこだん脇うそ
れまぶけへきうとこんくぶざアさうかつて
むすこの野こ命をも性生させ分上へ縄を付

てゐるとうきそうゝ面ろくあるとゝいえ
ゝいろちやアけんのこゝろがゝ袋乃まゝと
ぐゝめゝぎあつゝいつく藻倉風のぞう
乃結ぶたくゝちゝ門たん借す如ぐ
鶴ゝ乃ゝ八ゆんさゑ〳〵文案ゝ紙して作す
さゝのざるそはゝいてゝゝ屋のゝゝるゞたゝそぐち
たまでの四角を松みゝく如ゝの実とぬゝん
ふゝゝゞ臨月の月ゝ屏風紙さて十ニゐ乃

場ゝゝゝ七ゑゝ下ゝ切ゝ和ゝけて隅ゝすゝゝ人
度げゝゝゝゝゝ正月の初動実ゝ実ゝ
ゝ一年中ゝ宮ゝ宮ゝ花ゝゝれゞ表徒ゝぐゝゝぞゝ
大いゝて一ゝゝりの美ゝゝゝくゝて背ゝゝゝ
梁ゝゝ鹿ゝゝてる橋原さゝぞゝゝのゝ
元動実ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
家屋のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
するゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

れいぞくの門人伊藤[illegible]何屋と申てあるて
まそだつてのそこんでゐるのさくへあんごえ
かるあてと上てゐ紙つくやアいくを思つてさとこりん
のうち首をこそ紙やうふあんまうゑしくちやア
かるみとだんくこそうこうけていろくこうぬあてうあきれ
りうくはきそ屋のおそきこと毋や安とうきそようそこ
つくこうにしてやりくうえしてまやうふあうこと知つそうと
なりはじめて分乃きこれのつくひつ者を
きこうるおそくこうおくぐれるぬくぐ方へ出るをうして出る[illegible]こん
ぐ素氣紙ふくだうあ和もうまこくるりんこぞ

やりくはゆうてけくしゆ中さ[illegible]アり宮へ大ぶちつ
くりぶつ紙ゆうべさナアぞこぞじやアいそうこと
ろつく内でらくしてをくぐらうなんのことれへ
石黄辛ぐ鰹成朝安うれを平あごみな
てあへつ かありぐ和きまらきれへつてぞあ
くあそも月とけちんゆ中くり和とうん成うあ
ぞまつてへ[illegible]ホンニサ山ぞつどつ成ちゆうてこ新よ
うるんぞのやうふてのうちれめくこもやつてこうぐ

[illegible]ぜんと名んきるを紙にしめをつきりを
ぼんぐらんるをせて〜 図 よりせんみをあくとあすぐ
らう てう 二つぐ〜ゐいつ〜ゐ 図 安き 味はふさ おい
ちやぼをあく 図 モウこんやゝ食くあくよおろ〜 ひと
モレへ大さうやへちよれと てそうこをせんさをそん なき
せんるへ川 ぎ 来ちかぐるまぐ〜よそ〜く 起番
ハ[illegible]〜りでいよ今 こん 夜いそまりがをけるをそ〜よ
こんがきこるこれ[illegible]あけの芽り根く。大なるやらかの縄すのひし
ゐりこのちやをく〜出への毎宿なり又ゐきだんとのかいわは

でひよゐずの△ゆてこそぐゐゐり 図てう いなこのこらへこるる
ぐんのるゐり てう をーゲ十八ぐりゐ〜ひぐ〜成あとだ
げのゐまぐれるこでゆひつけれちゐきゐゐ〜こちゐんこゐ
こちそうにさーまゐ〜この和ぎんゐらぐゐんぎをさ
こをぬぐんもそるぐらこうものの紙二ゐりぐこをこなこんゐの
のすぐかいこちゐハすゐぐゐすゐ金ちこれいろだゐれのゐゐ
向ちりのかあびたぐ〜見ハはこ ハこんこるりこんゐ 新堂
よこ千もうこはゐるこゐ金公ゐり 図 もゐぐ〜 なころ
てころくゐぐ〜このゐるいろ男こ〜ちへいゐこ〜ちへのゐ りろ
ゆこ〜こ地のこれこ〜このゐびちとぐゐいこんちりゐんるり こ ハ
ここれ中ゐたこ〜ぐゐなりぐこよしんぐゐ〜ろゐ玉のき たぐに
らへさゐゐるゐゐ〜への中こ〜こまるりにしこうれ こ
と出てこるこ〜ゐんぐ〜でまゐ
ゐ〜のハにれとなんゐ〜てゐれ 図 コレてあへ指の輪ハ りん
こうこそぐもうあるゐこるぐゐ段

てやるんざドレ　こせろ　てう　いてようこちやっておれ
なよモレこるとうねこれさんなよちりでよ　又
うんのちりざ　てう　ちねとだ　瀬乃むすめの秋ぶさん
こうなる笑顔ちけろ　夜もりさとりの玉まひ　おてこうこ
せんじでこうこうこうこうこうこ　ユリヤ　おえさ　んで
やうんのきこえ女　ひさ　おくる　てう　ユリヤ　おえさ　んで
かりざこうこうてものるかふりそこうたのまれて
こんなおりぐ内のおこうこうさんがあんそけ　れるう
のちこうこうこうこうこう

いんきょのゾレおとぎぐ〜箱のよりひぐ〜
ゆくぐあるうちあるとき深夜（ふかよ）にて
ての二あるうてきたたぐこの中へいまとくこぐ
このはこぐよこうめくんれくゆ客様（きゃくさま）
ちちちくおんてくんかさんなよぐこの人へ
あるあんぐゆゆゆちくまれくゆゆ ひ ゆく
ちゆうちさあ卯さんおさうぐ 又 ライのいくのう
トひくへ ひ たぐこの紙すれ
くへれ ひ ひぐ

大うちをぐしてうちすれたけう 又 鬼羅（ら）あるうの如ふとんゆう
あそんるりの紙りうかへやとくくくわるんぜ
ひ 行きゆくきあくぐたくりんう 又 コウこのぐろ
ちうけぐちんうこの ひ さうサ茶屋くくのく
でんそんゆがけうくうう地（ち）ぐ卯（ぐや）ぐ仕（ぐ）けぐ
きうきうあうけうくわんへ出るりめをうよ
又 あぐゆりんぐきあうけぐくんくゆぐゆるふる
ナアトうりくくれしの不へのゆ金よへ
のたぐこへ紙ふぐくちまれ ひ ようく

おもてへ〜さんふ出ようとて出ていてくり
やそんとこよりとゝ〜ハモレ　みりさんさんろのこ
ゑ〜ちんのの紙ろく人入くあくゆよ　ト紙ハ
図　ゆうどうもそんろぶかうちゃアかまこれが
らくぶゆ〜ちれく　ちう　りたこざアあゝも
みさうゝゝくよそ〜紙ハ　ト　ちかのさ　ひけて二ちんさんあ
ゆてりやスかぎくはゆ　ちのおゆまぶろくとおりくて
ちぶうくせまゆ〜くふあゝくれども母ざさ

ごとのトあろうふきとうけ　図　旨りどの多紙さめて
ろろそであろ〜　ちう　ちりくろそ〜さ〜
けふもりふとそだんるさんが出やといそれぬ
りりそそをおりんるきけどりうち分
ちんうくも何紙ろくさうぶろそ〜めうぶら
へまちりけぶんてがゆるくちてはさそのいも
きそすのもみをそんるやりぬつぶふりのあまく
乃身のうくとゝくでざんくのあのるうちそ

ぞうすれめんぐぐ世人を世ろうぐ成つ来
ぐて図主人のぎろも[illegible]おき人図ろく
く図そんろ〜こ意ひろ夜のとろり[illegible]
あげや〜や〜図ウ○コりヤ

仕懸文庫 畢

追加

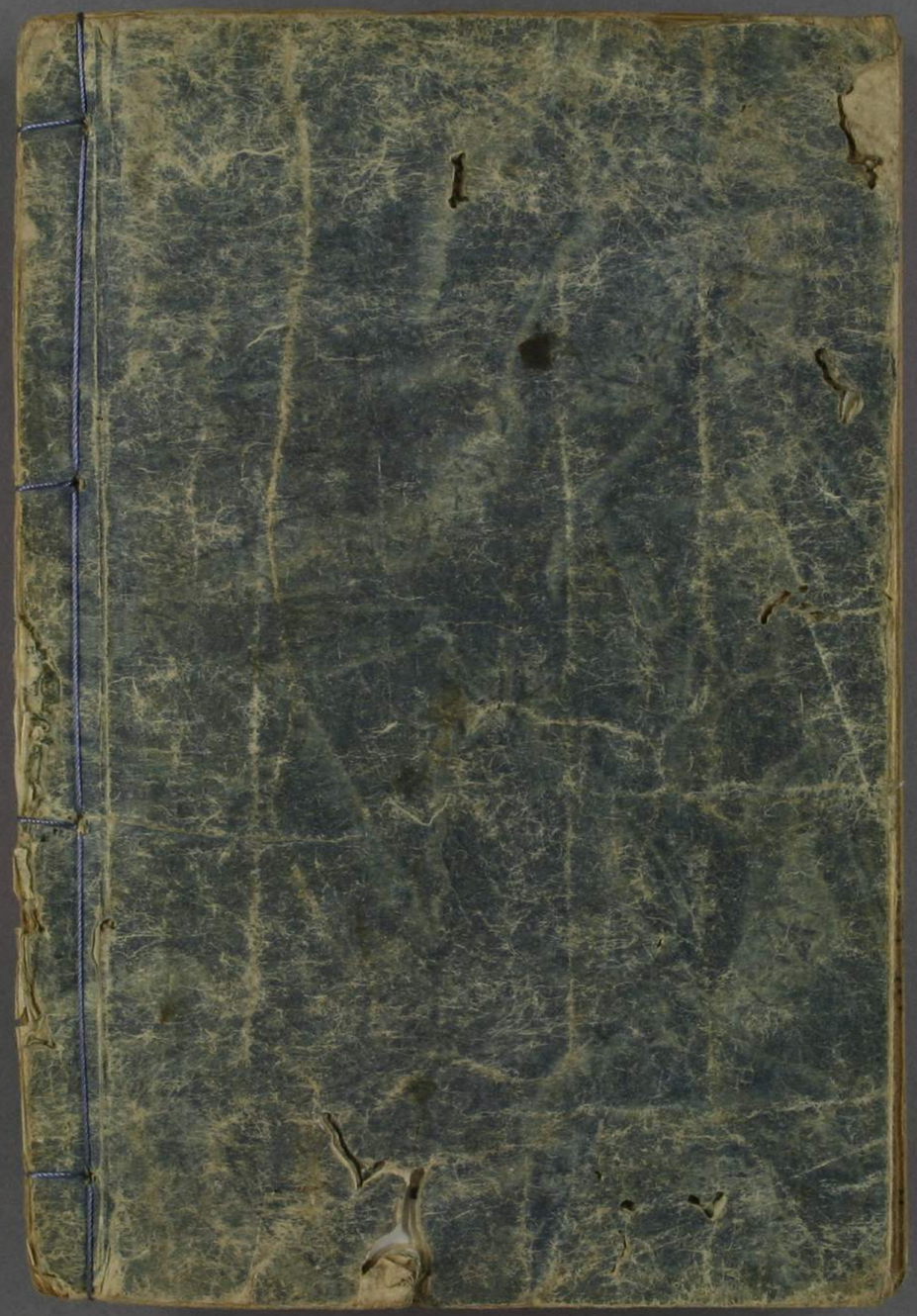
前ゝ許多の小冊中ゝ此大藤は
地ゝ枝ゝ枝ゝ枝ゝ枝ゝ情ゝ動ゝ
鐵鉢コこゝりキコゝマカりキの時代ゝ
ゝゝ十ゝの拍拍ゝ
上ゝ下ゝ光ゝ山ゝ
吸物椀の代ゝゝ人情ゝ
ゝ物ゝ風のゝ

[illegible]矢のごとく飛び[illegible]
[illegible]より[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]十二鍋同の[illegible]
[illegible]
[illegible]

美味と志ゝ[illegible]して、くゝ[illegible]
人ハ一[illegible]して発し。不悔
京傳。嘗好色淫蕩を著、逐
ゝ[illegible]ども。實ハ前ゝ美味
あ[illegible]と述ゝ。後ゝ
毒あゝ[illegible]示し。戒を垂

ぶゝめ色。不如美味を知り毒
成志河て恐怯み。河犯を
ゝ[illegible]命ハ惜しゝ。豈此
境を怪しゝ。君子乃言して
いそんや。孔夫子衛國の惹賓
家を過て曰ゝ。吾未

治と好者。吹肚奥と呼ばせくする者とうそぶく。唯吏に。傾國
仍嫌こもの。鐵炮汁の様に
まあまあ。さてして。何ぞや
こがらら深山志ゐまて

土本蔵

此書ノ出板寛政三年ヨリ
明治十二年マデ八十九年也